



# 財政事情に関する公表書

豊能町の令和3年度予算における財政事情は、次のとおりです。

令和4年2月1日

豊能町長 塩川 恒 敏



我が国の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きも続いているものの、一部で弱さが増しています。

先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種施策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されます。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要があります。

本町では、人口の減少や高齢化による影響で、主要な自主財源である町税の減少傾向が続いており、依然として歳入の50%以上を地方交付税などの依存財源に頼る状況が続いています。

一方で、人口急増期に建築した建物やインフラが、一斉に更新時期を迎えるなど、歳出面でも今後の財政負担が増加する傾向にあり、歳入の不足を基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況が続いています。

このように厳しい財政状況ではありますが、令和元年度に「豊能町行財政改革プラン2019」を策定し、事務事業の廃止・縮小、類似する事業の統合を図ることや、施設の再編・統合などの公共施設の今後のあり方についても検討し、施設の合理化を図ることにより、基金の取り崩しに頼らない健全な財政運営を目指します。

令和3年12月末現在における令和3年度の一般会計の予算額は、繰越財源を含み87億3,594万1千円、当初予算から16億894万1千円の増、前年度同期と比較して11億5,001万3千円、11.6%の減となっています。

令和3年度一般会計の4月から12月の収入済額は、53億8,486万7千円、前年度同期と比較して、21.2%の減であり、支出済額は、44億4,421万1千円、前年度同期と比較して、24.9%の減という状況にあります。また、支出の執行率は50.9%で、前年度同期より9.0%下回っています。

令和3年度の一般会計及び特別会計における4月から12月までの予算執行状況は別添のとおりです。